

# さつきやま魂

## 崎山小・中学校合同支援会議

2月19日、崎山小学校で小・中合同の学校支援会議を行いました。今年度の学校評価及び学校経営についての振り返りをした後、意見交換を行いました。第2学期末の学校評価の結果を裏面に掲載しています。

### 〈成果〉

- ・1学期同様ほとんどの項目で、3.5以上の高評価であった。
- ・⑤⑥学校行事等を通して自主的に活動するようになってきた。
- ・⑨毎日の掃除や奉仕作業等、勤労意欲の高まりが見られた。
- ・⑫保護者や地域の評価がやや下がったものの全体平均が3.8で「1・2」の評価は0であり、改めて崎山への期待の大きさが伺えた。など

### 〈課題〉

- ・②家庭学習は教師評価は上がっている。個別指導が必要な生徒がいるので指導・支援したい。
- ・⑧元気のよい挨拶が少なくなってきた。学校外での挨拶がよくない場面がある。どこでも誰とでも爽やかな挨拶ができるようにしたい。など

また、今回の学校支援会議では、次のような貴重な御意見もいただきました。

崎山中学校だより  
2月28日 第18号  
文責 校長 山下



「さつきやま魂」の特徴的なものをもっと出すべきではないか。

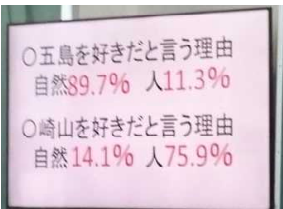
道徳の授業参観で、「崎山のどういったところが好きか」の質問に「人が好き」というのがあった。子どもたちが「さつきやま魂」を意識した目で地域を見ていることの表れではないか。

どんな場面でも自分の考えをはっきりと言える子どもを育ててほしい。学校支援会議を小・中合同で行うことはありがたい。

挨拶が校外でできないというのは、大人にも責任があるのではないか。大人がもう少し声をかけるのも大事だと思ふ。  
毎朝挨拶運動をしていただいているのはありがたい。今後もお願いしたい。

お忙しい中、御参会いただいた学校支援会議委員の皆様、貴重な御意見等、ありがとうございました。  
次年度は、一年を通して、学校支援会議を小・中合同で開催したいと思ひます。今年度の学校評価とともに参考にさせていただきます。次年度の学校経営に生かしていきます。

御協力ありがとうございました。



## 新入生入学説明会にて

2月4日、崎山小6年生とその保護者を対象に入学説明会を実施しました。交流給食から始まり、生徒会による崎中生活の紹介、授業見学を行った後、中学校入学に向けての説明を行いました。特に、交流給食では、中学生の準備の速さに驚きながらも楽しい時間を過ごしていました。



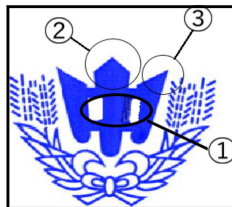
公立高校入試直前

入試直前ですが、別文書のように休校措置がとられることになり、御心配のことと思います。現時点では、3月10・11日の2日間、公立高校入試が行われる予定です。3年生は、放課後の学習会など、学級が一つになって最後の追い込みを頑張ってきました。これからは各家庭での自主学習が中心となります。心配なことがありましたら遠慮なく学校へ連絡してください。頑張れ3年生！



<1年生からのメッセージ>

## 知っていますか？ 校章の意味



1月に道徳の公開授業を行った際、学校評議員で上崎山人会長の荒木さんから崎山中学校の校章の持つ意味を伺いました。荒木さんが中学生の時、校章の生みの親である、当時の翁頭中学校長の川辺先生から聞いたそうです。実は真ん中の「中」の文字ですが、きれいな「中」ではなく、①のように本来は穴の位置がわざとずれていた、②のようにペン先みたいになっていたり、③のように突き出ているように、踏まれても踏まれてもペン先に向かって伸びていく様子を表現している。

- ②ペン先を表しており、勉強面や文化的な面を頑張りたいということを表している。
  - ③すくすくと成長してほしいという願いを表している。
- 一つ一つ意味があることに感動しました。やはり、「さつきやま魂」に通じるものがありますね。

### 【高校入試の思い出】

高校入試で最も覚えていたのは生まれて初めて腕時計をしたことである。高校には、掛け時計がなく時間がわからないためであるが、慣れない物を着用すると気になって仕方がない。受験中も頻繁に見ていた。事前に着用して練習すべきであったと反省した。「備えあれば憂いなし」